

アロカインド工場が稼働開始 [2009.04.07] 超音波診断装置

子会社工場 Aloka Trivitron Medical Technologies Private Limited(インド タミルナドゥ州 チェンナイ)が、小型超音波診断装置モデル SSD-500 の生産および出荷を開始しました。

Aloka Trivitron Medical Technologies Private Limited (ATMT) 社は、高まる新興国での低価格超音波診断装置の需要に対応する為、中国に次ぐ海外での第二の生産拠点として現地企業 TRIVITRON DIAGNOSTICS PVT との合弁工場として昨年設立いたしました。

今後順次生産能力を増強し、2009年11月頃には20,000平方メートルの敷地に本工場を完成させ、年内中にはポータブルモデル SSD-500 の現地生産を本格展開する予定です。

また生産機種を増やし中級機までの超音波診断装置と探触子のインド市場向けの生産を行い、将来的には近隣アジア諸国への輸出を行い、新興国での多様な顧客のニーズに対応します。